



広報

No.286

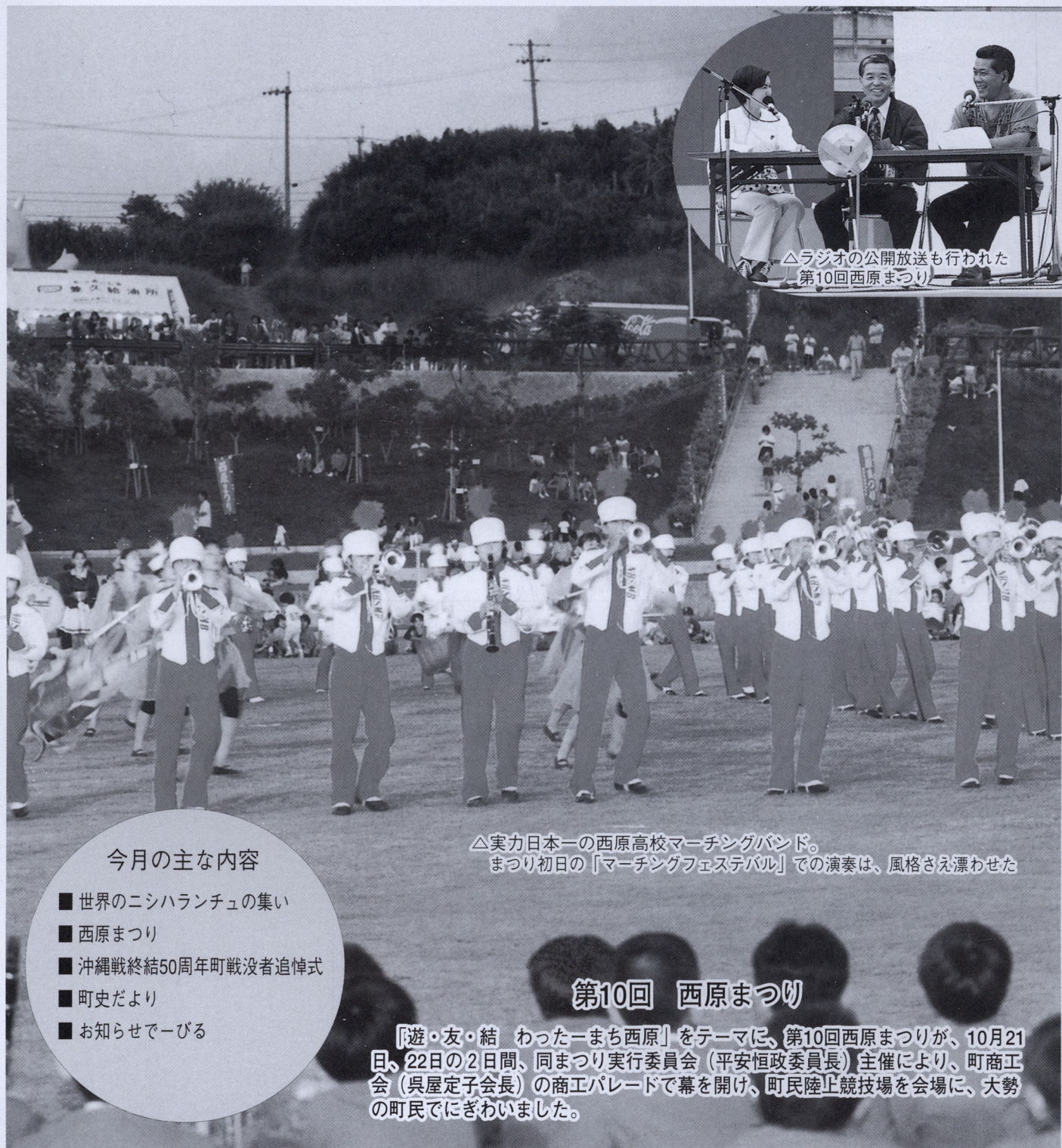
～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口
(平成7年10月末現在)

世帯数	9,129世帯
人口	28,956人
男	14,704人
女	14,252人
10月の人口移動	
出生 35件	死亡 8件
転入 101件	転出 92件
婚姻 16件	離婚 5件

編集・発行／西原町役場文化広報課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(946)9846 印刷／(協)丸正印刷



とじて保存すると便利です

今月の主な内容

- 世界のニシハラランチの集い
- 西原まつり
- 沖縄戦終結50周年町戦没者追悼式
- 町史だより
- お知らせでーびる

△実力日本一の西原高校マーチングバンド。
まつり初日の「マーチングフェスティバル」での演奏は、風格さえ漂わせた

第10回 西原まつり

「遊・友・結 わったーまち西原」をテーマに、第10回西原まつりが、10月21日、22日の2日間、同まつり実行委員会(平安恒政委員長)主催により、町商工会(呉屋定子会長)の商工パレードで幕を開け、町民陸上競技場を会場に、大勢の町民でにぎわいました。

五年ぶり 親善交流を深める

― 第二回 世界のニシハラランチの集い ―

町(平安恒政町長)は、五年ぶりに開催される「世界のウチナンチュ大会」に参加するため世界各国から来沖した町出身者を一堂に集め、親善交流してもらおうと、「第二回世界のニシハラランチの集い」を、十一月十四日午後、かねひで都パレスで開催しました。

同集いはハワイ、北米、ブラジル、アルゼンチン、ペルーなどから町出身者約四十六人が出席、西原町からは平安町長、富春治町議会議長ら約二百六十人が参加しました。



△世界のニシハラランチを温かくむかえようと
たくさんの人々が集まった

第一部「歓迎式典」では、平安町長の歓迎あいさつ、富町議会議長の激励あいさつ、海外移住者への記念品贈呈、ウェーニン宮平正氏(ハワイ)・小波津房子氏(ブラジル)・嘉手苺良信氏(ペルー)・玉那覇善明氏(アルゼンチン)ら各国町人会代表あいさつ、ウェーニン宮平正氏とジューン新川洋子氏(ハワイ)・嘉手苺信子氏(ペルー)・比嘉ノブコドウカ氏(フィリピン、集いには日程の都合により不参加)ら民間大使の紹介、本年度の町海外移住者子弟研修生の大城シルビアさん(アルゼンチン)、仲

宗根アルベルトさん(ペルー)の紹介などがありました。

第二部「伝統芸能の夕べ」では、町文化協会による古典音楽や琉球舞踊、民謡ショー、小波津の棒術、桃原の獅子舞など、故郷の伝統芸能が披露さ

れました。

集いは、終始和気あいあいと和やかな雰囲気の中で進められ、参加した町民は、一世たちとは再会を喜び、二世・三世たちとは親善交流と、それぞれ思い思いに交流を深めていました。

〔各国町人会代表者〕



〈アルゼンチン〉
玉那覇 義明氏



〈ペルー〉
嘉手苺 良信氏



〈ブラジル〉
小波津 房子氏

〔民間大使〕



〈ペルー〉
嘉手苺 信子氏



〈ハワイ〉
ジューン新川洋子氏



〈ハワイ〉
ウェーニン宮平氏
(ハワイ町人会代表)

※ハワイ町人会代表ウェーニン宮平正氏は、民間大使でもあるので、そちらに掲載しています。

※フィリピンの比嘉ノブコドウカ氏は当日、日程の都合により同集いに不参加のため、写真は掲載していません。

町役場でミニ税金展や 税金相談コーナーを開催

「この社会あなたの税がいきている」、「暮らしを支える税」を標語・テーマに、十一月十一日から十七日までの

「税を知る週間」の一環として、北那覇税務署と那覇県税事務所、町の共催により、町役場ロビーで「ミニ税金展」、町役場二階会議室で「税金相談コーナー」を開催しました。

「ミニ税金展」では、グラフや図を使い、平成六年度一般会計歳出(歳入)決算状況や平成七年度一般会計当初予算(歳入、歳出)など税に関

する事柄が分かりやすく紹介されました。

また、「中学生の税に関する標語」の入賞作品、全国納税貯蓄組合連合会会長賞受賞作文なども展示され、町役場を訪れた人々の目を引いてました。

「税金相談コーナー」は、十四日だけの開設にも関わらず、十七件ほどの相談があり、町民の税金に対する関心の高さを伺わせました。

なお、展示された標語、作文の入賞者は次の通り(敬称略)。

【中学生の税に関する標語】

《最優秀賞》「明るい 楽しい 美しい そんな未来を税金で」(安里さとみ・西原中学校三年)

《優秀賞》「納税は豊かな暮らしの方程式」(平良智之・西原中学校三年)

「納めてますか あなたの未来」(与那嶺愛・西原中学校三年)

【全国納税貯蓄組合連合会会長賞】▽生活の源「税」(桃原小百合・琉球大学附属中学校三年)

十一月十日午後、西原南小学校体育館で、緑の少年団結成式が行われました。

南小学校緑の少年団は、四年生と五年生の児童三十人で構成され、団長は奥間輝夫南小学校校長。

緑の少年団は、次代を担う子供たちが、森林での学習活動、地域への社会奉仕活動、キャンプなどのレクリエーション活動を通じて、自然を愛

し、人を愛し、自ら社会を愛する心豊かな人間に育って行くことを目的とした団体で、昭和三十五年に結成されて以来、平成五年三月現在、全国で二、五四一団体、二十四万人余に達しています。

結成式では、山口栄徳沖縄県緑化推進委員会理事長あいさつ(代読)の後、団旗の授与、平安恒政町長祝辞(翁長正貞収入役が代理)、奥間団長の激励のことが行われました。

また、緑の少年団を代表して上原未央さん、大城美由紀さんが「わたしたちは、緑の少年団にはいり、緑の中でさまざまな野外活動や、学習活動をとおり、緑の大切さを知り、わたしたちのまわりの小さな木や草の命を

大切にする人になります。わたしたちは仲間と手をつないで、ふるさとの緑をまもり育てて行きます」と力強く誓いの言葉を述べました。

結成式に引き続いて緑の少年団やPTA役員らがゴールデンシャワーとイッペイの樹合わせて約百本の記念植樹を行いました。

◁「ふるさとの緑をまもり育てて行きます」と南小緑の少年団のみなさん



△町役場玄関に設けられた「ミニ税金展」コーナー

西原南小学校で 「緑の少年団」 を結成





△はんたまし祭りの幕開けをパレードでアピール

第2回はんたまし祭りを開催

当初9月に予定され、台風の影響で開催を延期していた「はんたまし祭り」が、11月11日、坂田小学校を主会場に開催されました。

主催の前田光則坂田通り会会長や呉屋定子町商工会会長、来賓の平安恒政町長ら関係者が、プリマート坂田店から坂田小学校まで、西原高等学校マーチングバンドを先頭に、パレードで祭りの幕開けをアピール。

坂田小学校では、グラウンドに設けられた特設ステージや運動場、体育館などで、ロックバンド演奏や太鼓祭り、空手演武大会、スポーツ大会、フリーマーケットなどさまざまな催しが行われました。

また、坂田大通りは、イルミネーションやちょうちん、のぼりなどで飾り付けられ、まつりの雰囲気を感じていました。

△小那覇交番につくられた文字花壇。
ひらがなの「こうばん」の文字が読めるかな？

小那覇交番に文字花壇

町民に親しまれるような交番にと、国道329号沿い小那覇交差点近くの小那覇交番(安里義清所長)に、ちょっと変わった花壇が完成しました。

この花壇は、これまでの殺風景な花壇を作り直し、キバタイワンレンギョウの苗木約90本で「こうばん」のひらがな4文字が描かれたもの。交番のイメージアップという安里所長のアイデアに、サワフジ通り会や町内の造園業者らが賛同し、無償で協力しました。

11月7日午前には、この花壇の贈呈式とお披露目が関係者を集めて行われました。

今後、花壇の側面に子どもたちが絵を描き、クリスマスには飾り付けをするなどの予定があり、楽しい花壇になりそうです。



△13祝を迎えた我謝の獅子

我謝の獅子が十三祝

我謝(城間義光区長)では、10月29日午後、我謝児童公園で、獅子の「十三ウユエー(祝)」を行いました。

我謝の獅子は、長老の話しによると198年の伝統があり、現在の獅子は掛保久の玉那覇精徳さんの製作によるもので4代目。

区老人会や婦人会など各団体による祝いの踊りや民謡の合間に、若手による新手(ミードー)、これまで踊り手がなく久しぶりの上演となった元手(ムートゥデー)が3回にわたり舞われました。我謝の獅子舞は立って舞うのが多く特徴的。特に、元手は舞いの原型を色濃く残し、派手さはないが伝統の風格を感じさせました。ウユエーには、大勢の区民が参加して獅子の十三祝いを祝いました。



△第16回町小学校童話・お話大会の発表者と入賞者のみなさん

6名が町代表で中頭地区大会へ

子どもたちの表現力養成と情操の陶冶、言語教育の発展を目的に町PTA連絡協議会(玉那覇康夫会長)主催による第16回町中学生意見発表会(11月1日、西原東中学校体育館)と同町小学校童話・お話大会(11月7日、西原東小学校体育館)がそれぞれ行われ、最優秀賞6名が、11月18日の中頭地区大会に町代表として派遣されることになりました。

なお、最優秀賞に選ばれた児童生徒は次の通り(敬称略)。

【小学校】《低学年》我謝孟春(西原小3年)、金城千恵(西原南小2年)《高学年》喜屋武享介(西原東小6年)、田島あゆみ(西原小6年)【中学校】新垣善孝(西原東中2年)、玉那覇恵(西原東中3年)

伝統芸能・文化の華が咲く

第十回 西原まつり

大勢の町民がにぎわい、ふれあい

燃えた二日間

西原まつりは、二十一世紀へ向かって羽ばたく本町の輝かしい将来を展望し、地域産業の育成、教育芸能文化の振興、福祉の向上、町民相互の融和とより一層の町民意識の高揚を目的に隔年で開催されています。十回目となる今回は、戦後五十周年の節目の年にあたる意義深いものとなりました。

【二日目】

「子どもフェスティバル」では、町内の私立保育園で構成する町私立保育向上連絡協議会の子どもたちによる太鼓演奏や町中央公民館講座子どもさんしんの三線演奏、各琉舞道場で習練を積む子どもたちによる踊りが披露され、大人顔負けの演奏・演技に、会場から

盛んに拍手が送られていました。

「マーチングフェスティバル」では、来年一月一日アメリカで行われるロースパレード日本代表の地元西原高等学校マーチングバンドや開南小



△大人顔負けの演技をみせるチビっ子たち、伝統がしっかりと引き継がれていることを感じさせる

学校、玉城中学校といった県を代表するマーチングバンドが一堂に会し、見事な演奏に加え、その素晴らしい動きで、観客の人気を集めていました。

「ヤングフェスティバル」

では、琉球大学、西原高等学校、ミューズファミリーら各バンドが力強い演奏で会場の雰囲気盛り上げ、町建設協力会(比嘉清光会長)主催による町人材育成会基金造成のための「チャリティー抽選会」、文化協会による「民謡シヨー」、地域・職場から踊り自慢が参加した「カチャーシー大会」など、盛りだくさんの内容に詰め掛けた観客もいっしょになって参加していました。

【二日目】

午前中、球技大会(スーパーキックベースボール)が行われ、チーム 人が参加、西原町役場チームが優勝を飾りました。ラジオ沖縄による「チビッコ天国」では、ジュニア早飲み競技や風船割り競技などに、たくさんの子どもたちが参加しました。町保育連絡協議会の子どもたちによる「ヨンシー太鼓」では、かわいらしい太鼓演奏で、会場の笑みを誘っていました。集団演技では、老人クラブの民踊、子どもエイサー、西原高等学校生徒によるエイサーなど、調和のとれた見事な演技で観衆を魅了していました。カラオケ大会ではゲストに歌手の石原エミ母娘を迎え、参



△苗木の無料配布が行われるとごらんのとおりの長蛇の列ができた

加者が自慢のものを披露していました。「婦人会エイサー」では町婦人会が一糸乱れぬ見事なエイサーを披露しました。

圧巻は、このまつりの目玉となる「伝統芸能と旗頭の共演」。ステージで文化協会古典音楽部会・太鼓部会・琉球箏部会による古典音楽演奏のあと連玉太鼓(町商工会青年部)、銭掛の花(伊波正枝舞踊研究所)、獅子舞(幸地、桃原、棒術(小波津)、花笠三段節(小那覇)といった西原の伝統芸能の数々が披露され、町民に故郷の芸能文化の素晴らしさをアピールしました。引き続きまつり広場では、棚原、小波津、坂田、小那覇嘉手苅、平園、我謝といった町内各地の旗頭と、いせいよく爆竹を鳴らして景気づけたゲスト出演の那覇市首里石嶺町の旗頭、琉球國まつり太鼓の旗頭が入場、それぞれが旗頭のガトーエーを行いました。その後、花火を合図に参加したすべての旗頭が広場狭しと乱舞、獅子舞や観客もカチャーシーで参加するなど、まつりは最高潮を迎えました。まつりの最後は、花火で締めくくり。夜空に色とりどりの花火が鮮やかな模様を彩り、観客もその美しさに我を忘れて魅入っていました。



△しっかりと地謡をつとめた子どもさんしんのみなさん



△いろいろな踊りが乱舞したカチャーシー大会



△時にはげしく、時に切々と歌いあげた民謡ショー



△町老人クラブ連合会の集団演技



△町保育所連絡協議会の「ヨンシー太鼓」



△スーパーキックベースボールで優勝した町役場チーム



△のど自慢が競ったカラオケ大会



△ハツラツとした動きをみせた西原高校生のエイサー



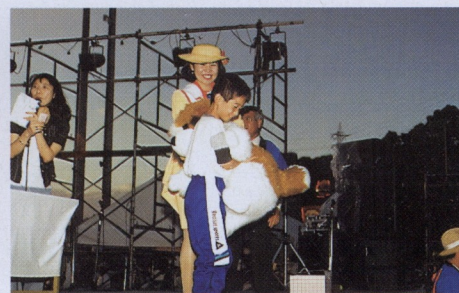
△大人顔負けの演舞をした「子どもエイサー」



△観客に感銘を与える演奏をした古典音楽部会・太鼓部会・琉球琴部会のみなさん



△息のあった演技を披露した婦人会エイサー



△人気をあつめた町建設協力会の町人材育成会基金造成チャリティー抽選会



△サワフジ(カザリバナ)を題材にした乙花の気持ちを表す銭掛(ジンカキ)の花の踊り



△勇ましい演奏をした運玉太鼓のみなさん



△最後のミス西原となった第3代ミス西原には平安町長から感謝状と記念品が贈呈された



△平成6年に獅子を修復、新しい型で各種行事にも参加する桃原の獅子舞



△棒対棒、ヤリとなぎなたなど様々な棒術が伝わる小波津棒術



△空手の型を見本にした舞をみせる幸地の獅子舞



△地域の代表者が先導した棚原の旗頭



△力強いエイサーや見事な集団演技で観客を魅了した琉球国まつり太鼓のみなさん



△優美な舞いをみせる花笠三段節(小那覇)



△嘉手苺の旗頭



△小那覇の旗頭



△小波津の旗頭



△首里石嶺の旗頭



△我謝の旗頭



△平園の旗頭



△まつりの最後は花火で締めくくり、夜空に華やかな花が咲誇った。



△すべての旗頭が会場狭しと乱舞、まつりは最高潮に



△坂田の旗頭

終戦から五十年 平和創造への努力を誓う — 沖縄戦終結五十周年町戦没者追悼式 —

「沖縄戦終結五十周年西原町戦没者追悼式」が、十月二十七日午後、西原の塔で、遺族や関係者ら約五百人が参加して、しめやかに執り行われました。

追悼式は、開式のことば(小川良夫助役、全員による黙とう、式辞(平安恒政町長)、追悼のことば(翁長正貞町遺族会会長)、弔辞(大井正昔陽会代表と南 勇八九会代表)、各団体代表による献花、来賓あいさつ(富春治町議会議長)、平和の誓い(与那嶺愛子 西原中学校二年)、閉



△たくさんの参拝客が焼香をあげた
(沖縄戦終結50周年町戦没者追悼式から)



△「平和の誓い」を述べる与那嶺愛子さん
(西原中2年)

式のことば(翁長正貞収入役)の順で行われました。

「平和の誓い」の中で与那嶺愛子さんは、自分自身の体験や意見を述べた後、「二度と戦争が起らないように、次の世代へも語り継ぎ、『人の心の痛み』が分かる人が増えて行く世の中にするため、私達一人ひとりが努力し、まず『出来ることから』始めて、平和の社会を築く担い手となることを誓います」と述べ、平和創造へ努力していくことを戦没者に誓いました。引き続き、一般参列者が焼香し、戦没者の霊を慰めました。

また、西原町伝統芸能協会古典音楽部会・同琉舞部会による奉納の舞踊も行われ、戦没者の御霊を慰めました。参列したあるおばあさんは「こんなこと(伝統芸能の披露)

露)ができるような平和な時代がきて本当に良かった」と、涙ぐみながら話していました。



△西原町伝統芸能協会古典音楽部会・同琉舞部会による奉納の舞踊(まい)も行われた

用途地域の決定に

(案)まとまる 議会が回答—

西原町都市計画審議会委員名簿 (任期：平成7年10月25日～平成9年10月24日)

区分	氏名
学識経験者	米 盛 徳 市
	平 良 一 男子
	呉 屋 定 子
	大 城 栄 徳
町議会議員	前 里 光 信
	伊 礼 一 美
	与那城 松 勤
	仲 川 良 夫
町職員	小 川 正 和
	宮 平

町都市計画議会委員への委嘱及び任命状交付式が、十月二十五日午後、町役場二階議会議室で行われ、委員の互選により、会長に米盛徳市氏(琉球大学教育学部助教授)、副会長には平良一男(県土木



△本町の用途地域切り替え(案)を審議する町都市計画審議会の様子

建築部都市計画課主幹)が選出されました。

引き続き、平安恒政町長から那覇広域都市計画用途地域決定についての町用途地域切り替え(案)が審議会に諮問されると、同審議会では事務局から新用途地域制度の意義や町内の市街化区域の地区毎の説明を受け、各委員の活発な意見を交換し、本町の新用途地域(案)をまとめました。

翌二十六日午前には、米盛会長から平安町長に対し「西原町新用途地域(案)」が、回答されました。この新用途地域は、県知事が平成八年四月一日に都市計画決定告示を行い、告示日から施行されます。



△グランドゴルフを楽しみながら健康と仲間づくり
(平成7年度町敬老スポーツ大会から)

グランドゴルフで 健康と仲間づくり

—平成七年度町敬老スポーツ大会—

町(平安恒政町長) 主催に

よる平成七年度町敬老スポー

ツ大会が、十一月二日午後、

町民陸上球技場で開催され、

町在住の六十歳から七十九歳

までのお年寄りの方が参加し

て、グランドゴルフを楽しみ

ました。

これは、高齢者の健康増進

と地域交流を深めようと毎年

開かれているもので、各行政

区から三十八チーム、百十四

人が参加しました。

大会後には、懇親会もあり、

球技のプレーを話題に和やか

に交流していました。

なお、成績は次の通り(敬

称略)。

【団体の部】一位・小波津C

(玉那覇亀助、呉屋行英、呉

屋ツル)、二位・棚原A(比

嘉茂子、宮城ヒデ、比嘉シズ)、

三位・小波津B(伊野波盛哉、

糸数ヨシ子、小波津春子)

【個人の部】《男性》一位・

玉那覇亀助(小波津C)《女

性》一位・呉屋ツル(小波津

C)【ホールインワン賞】玉

那覇亀助(小波津C)、呉屋

ツル(小波津C)、与古田政

子(掛保久B)、伊波善英

(棚原C)、古堅ツル子(兼久

B)、与那嶺春子(津花波A)

寄付・香典返し

(ありがとうございました)

▽字我謝二百十八番地、新川

ハルさんが、故夫次郎さんの

香典返しとして西原町社会福

祉協議会と西原町人材育成会

へそれぞれ十万円。

▽字小波津二十番地、呉屋ヨ

シ子さんが、故夫文雄さんの

香典返しとして西原町社会福

那覇広域都市計画

西原町の 用途地域切り替え —西原町都市計画審

祉協議会へ五万円。
▽与那那原町字与那原一〇一
番地、平良進幸さんが、母カ
メさん(本町字我謝七百八十
一番地)のカジマヤーを記念
して西原町社会福祉協議会へ
十万円。
▽字我謝七百八十一番地、平
良カメさんが、カジマヤーを
記念して西原町人材育成会へ
十万円。
▽字我謝七百五十八番地、宮
平ヨシさんが、米寿を記念し
て西原町遺族会へ十万円。
▽西原町建設協力会(比嘉清
光会長)が、西原町人材育成
会へ西原まつりで実施した
「西原町人材育成会基金造成
チャリティー抽選会」の収益
金五十三万円。

改正前		改正後	
住居系	①第一種住居専用地域	①第一種低層住居専用地域 (低層住宅の良好な環境保護のための地域)	⇒
	②第二種住居専用地域	②第二種低層住居専用地域 (小規模な店舗の立地は認められる、低層住宅の良好な環境保護のための地域)	
	③住居地域	③第一種中高層住居専用地域 (中高層住宅の良好な環境保護のための地域)	
商業系	④近隣商業地域	④第二種中高層住居専用地域 (一定の利便施設の立地は認められる、中高層住宅の良好な環境保護のための地域)	
	⑤商業地域	⑤第一種住居地域 (大規模な店舗、事務所の立地は制限される、住宅の環境保護のための地域)	
工業系	⑥準工業地域	⑥第二種住居地域 (大規模な店舗、事務所の立地も認められる、住宅の環境保護のための地域)	
	⑦工業地域	⑦準住居地域 (道路の沿道において、自動車関連施設等と住宅が調和して立地する地域)	
	⑧工業専用地域	⑧近隣商業地域 (近隣の住宅地の住民のための店舗、事務所等の利便の増進を図る地域)	
		⑨商業地域 (店舗、事務所等の増進を図る地域)	
		⑩準工業地域 (環境の悪化をもたらすおそれのない工業の利便の増進を図る地域)	
		⑪工業地域 (工業の利便の増進を図る地域)	
		⑫工業専用地域 (専ら工業の利便の増進を図るための地域)	

平成八年四月一日に告示・施行
新用途地域制度

戸籍手数料が平成8年1月1日より下記のとおり改訂となります。

戸籍手数料令該当条文	申請事項	現行手数料(円)	改定後(円)
1号	戸籍の謄抄本又は記録事項証明書 1通	400	450
2号	除かれた戸籍の謄抄本又は記録事項証明書 1通	700	750
3号	戸籍に記載した事項に関する証明 証明事項1件	300	350
4号	除かれた戸籍に記載した事項に関する証明 証明事項1件	400	450
5号本文	届出若くは申請の受理の証明書又は戸籍法第48条第2項の書類に記載した事項の証明書 1通	300	350
5号ただし書	婚姻、離婚、養子縁組、養子離縁又は認知の届出の受理については上質紙を用いた証明 1通	1,300	1,400
6号	戸籍法第48条第2項の書類の閲覧 書類1件	300	350

お知らせ
でーびる



案内・募集

12月

平成7年度第3回保留地処分の公開抽選について

保留地処分(土地売却)のお知らせ!

那覇広域都市計画事業上原棚原土地区画整理事業の平成7年度第3回保留地処分の公開抽選を平成7年12月16日(土)、午後6時から西原町社会福祉センター(大広間)で行います。抽選参加申込受付期間は、平成7年12月4日(月)から平成7年12月14日(木)迄です。(詳細は別途配布のチラシをご覧ください。)

※お問い合わせ先 区画整理課 (☎945-4415)

町史だより
—No.8—

町内井戸めぐり①

現在編集集中の『西原町史』考古編では、町内の各集落の共同井戸を考古学の視点から調査し、まとめています。

西原の井戸は、その多くが堀り井戸で、湧泉の数は少ないといえます。それは、西原の地形や地質に関係すると思われます。

井戸の造りは、石積みだけのりや、クチャを掘抜いただけの井戸など様々な形態がみられますが、そのなかでも湧水に樋をかけるヒージャーガー(樋川)という造りの井戸があります。

西原では、森川の一貫ガ1・棚原のヒージャーガー・池田の御茶多理ヒージャーの



△棚原のヒージャーガー

四つのヒージャーガーがありましたが、残念なことに現在その姿を残しているのは、森川の一貫ガーのみとなっています。

棚原のヒージャーガーは、現在の区画整理区内にありました。写真でみるように、長方形の切り石積み溜池があり、樋は石造りで、上部は土留めのあいだ積みが施されています。そして溜池の前面の前庭部も切り石が敷かれています。樋口は、三カ所あって、真ん中の大きい口が「ペーペー」左右の小さい口は「ペーペーグワー」と呼んでいたようです。どうしてそう呼ばれたのかはよくわかっていませんが、ある話では「ペーペー(山羊)の生まれでてくるところに似ているから」とのこと。なんだか奥が深いような話ですね。この呼称については、もう少し調べてみたいと考えています。御存知の方の情報をお待ちしています。

棚原のヒージャーガーのほればれするような立派な石積み写真を見て、改めて石造文化の魅力を実感しているこの頃です。
追記…ヒージャーガーは近く復元されるようです。

県立浦添職業能力開発校
平成8年度4月入校生募集案内

(受付期間：平成8年1月16日(火)～2月29日(木))
お問い合わせ：浦添職業能力開発校
TEL878-5627、879-2560

沖縄の厚生年金特例措置への加入手続実施中!

対象者の皆様、加入手続は済みませんでしたでしょうか。
特例措置に加入し、老後の生活安定を図りましょう。

◎特例措置に加入するメリット

▶特別納付保険料を納める事によって、受け取る年金額が増え、長生きするほど年金の恩恵が受けられます。

◎特別納付保険料と税金について

▶特別納付保険料は社会保険料として所得金額から控除されます。

◎特別納付保険料は融資を受けて納付することができます。

▶融資制度として、「厚生年金ローン」が設けられており、それを活用して全額納付することができます。

◎厚生年金ローンの大きな特徴

▶県の利子補給があるため低利になっています。(制度融資)

▶原則として無担保、無保証です。

▶満75歳6ヵ月以下の方(病気でない方)は、団体信用生命保険に加入することになるため、万一の場合でも負債は残りません。満75歳6ヵ月を越える方は、団体信用生命保険加入にすることはできませんが、融資利率は満75歳6ヵ月以下の方より低利になっています。

▶最長5年間の借入ができますので、特例納付によって年金が増加した分を返済に充てれば償還が容易となります。

◎特例措置の対象者

▶今回の特例措置の対象者は、昭和45年1月1日から昭和47年5月14日の期間(復帰前)に沖縄の厚生年金に加入したことのある方で、昭和20年4月1日以前に生まれた方です。

◎対象者と思われる方で通知の届いていない方へ

▶今回の特例措置の対象者の方には、平成7年5月末で既に通知しておりますが、中には通知ができないケース(現在、厚生年金を受給していない方や、会社等をやめてから、かなりの年数が経過している方などの場合に多い)が多数ありますので、対象者と思われる方は、社会保険事務所で確認(対象者であるか、追加納付できるか)した後に県の厚生年金問題

対策室や最寄りの分室窓口で申請書類をもらって、手続を行って下さい。

◎雇用証明と雇用経歴認定申請

▶雇用証明とは、昭和29年5月から昭和44年12月の間で自分が雇用されていた期間について証拠資料によって証明することで、県の窓口で申請を行って下さい。県は同申請に基づいて雇用経歴の認定を行います。

なお、雇用証明の証拠資料がどうしてもない場合で、昭和40年1月から昭和44年12月の5年の間に限っては、市町村長の発行する在任証明書で申請することができます。

【お問い合わせ先】

■雇用経歴の認定申請手続きの窓口

□厚生年金問題対策室(南部合同庁舎・旧沖配ビル)

TEL098-868-4300

□厚生年金問題対策室北部分室(旧名護県税事務所)

TEL0980-52-6385

□厚生年金問題対策室中部分室(女性就業援助センター内)

TEL098-930-4311

■保険料の算定・納付手続きの窓口

□那覇社会保険事務所 TEL098-831-7900

□浦添社会保険事務所 TEL098-875-7147

□コザ社会保険事務所 TEL098-933-0133

■駐留軍の雇用経歴のある方等の相談窓口

□(財)沖縄駐留軍離職者対策センター TEL098-898-5567

■厚生年金ローン取扱金融機関

□琉球銀行□沖縄銀行□沖縄海邦銀行□沖縄県労働金庫□沖縄信用金庫□コザ信用金庫□県下各農業協同組合

12月(DEC.) 行事・祭事予定

- 1日(金) ○BCG(ツ反陰性者、9:00~10:30、町中央公民館)
○町商工会設立20周年記念式典・祝賀会(16:00、都パレス)
- 5日(火) ○研究発表会(西原中学校)
- 7日(木) ○DPT(12か月~90か月児、13:00~13:45、町中央公民館)
- 9日(土) ○アニメ映画「5等になりたい」(14:00、16:00、18:00、町中央公民館ホール 料金:大人・子供ともに400円)
- 11日(月) ○三歳児健診(H4.8.7~H4.9.8生れ、13:30~14:15、町社会福祉センター)
○在宅寝たきり、虚弱高齢者・障害者理髪サービス
- 12日(火) ○12月定例議会(町役場2階町議会議場)
- 16日(土) ○乳児一般健診(H7.7.30~H7.9.16生れ、H7.1.30~H7.3.16生れ、9:00~10:00、13:00~14:00、町中央公民館)
○ボランティア連絡会結成大会(14:00、町中央公民館大ホール)
- 21日(木) ○1歳6か月児健診(H6.5.17~H6.6.17生れ、13:30~14:15、町中央公民館)
- 23日(土) ○天皇誕生日
- 28日(木) ○御用納め

1月(JAN.) 行事・祭事予定

- 1日(月) ○元旦
- 4日(木) ○御用始め
- 5日(金) ○心配ごと相談所(14:00~17:00、町社会福祉センター、10日、17日、24日、31日)
- 8日(月) ○三歳児健診(H4.9.9~H4.10.8生れ、13:30~14:15、町社会福祉センター)
- 10日(水) ○離乳食実習(乳児、13:30、町中央公民館)
- 11日(木) ○DPT(12か月~90か月児、13:00~13:45、町中央公民館)
- 13日(土) ○新春の集い(16:00、西原東中学校体育館)
- 14日(日) ○新春トリムマラソン(9:00、西原小)
- 15日(月) ○成人の日
○平成8年町成人式(13:00、町民体育館)

(※都合により日程変更もあります)

町中央公民館から

映画上映のお知らせ

長編アニメーション・カラススタンダード
5等になりたい。

●上映日時:平成7年12月9日(土) 障害者の日

午後2時、4時、6時

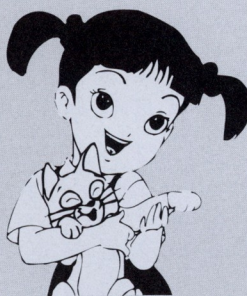
●料 金:大人・子ども共に 400円

●場 所:町民中央公民館ホール(お問い合わせ☎945-3657)

ものがたり

小児マヒのため、足の不自由な律子は、小学校へ行ったら友達がたくさんできると心はずませていました。しかし、クラスメイトからは、みんなと同じように歩けないことから、のけものにされ、大雨の日、長クツとカサをかくされるといういじめにもあいました。

次の日、学校に行きたくない律子は、マッサージ師の石橋先生を訪ねます。「みんなとちがっていい。人はどこかにハンディをもっている。いじめっこは、心にハンディを持っているんだよ。」と、人



間の本当の優しさと強さを伝える石橋先生。先生の励ましで、律子は自分から友達の中にとけこむ努力をしていきます。

そんな律子の頑張り、いつしかいじめっ子の省吾や咲子たちも、「運動会で5等になりたい」という律子の夢をかなえようとします。そして、いよいよ運動会の日がやってきました。

町民体育館で県芸術祭を開催

美術部門で赤嶺 雅さん(字翁長)が県知事賞
写真部門で比嘉睦子さん(字池田)が奨励賞

「平成7年度県芸術祭美術展・写真展」

に町民7名が入賞・入選



△「平成7年度沖縄県芸術祭美術展・写真展」の開催
テープカットのまよう

「平成七年

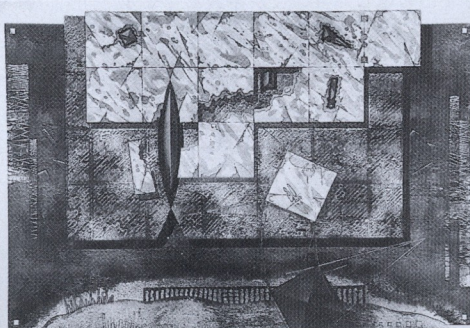
度沖縄県芸術
祭美術展・写
真展」が、十一

月十五日から
十九日までの
五日間、町民
体育館を会場
に開催されま
した。主催は、
県や西原町は
か八市町村。

県芸術祭は、県民の意欲的な芸術活動の奨励と芸術鑑賞の機会による県民文化の向上を目的に、展示部門と舞台部門が実施されているもので、今回、本町で初めて展示部門(美術部門・写真部門)が開催されました。

開催初日の十五日午前には、関係者約二十人が参加してテープカットが行われ、安慶名一郎県観光文化局長や平安恒政町長、屋良朝光町文化協会会長らが開催の祝辞を述べました。

美術部門と写真部門に、それぞれ八十六点と八十四点の入賞・入選作品が展示され、美術部門で本町字翁長の赤嶺雅さんが県知事賞、写真部門でも比嘉睦子さん(字池田)が奨励賞を受賞するなど、「文教のまち西原」の面目躍如という町民の活躍ぶり。参観者からは「日ごろから



△《県知事賞》「時の鼓動」赤嶺雅さんの作品

このように芸術に触れる機会があれば、「素晴らしい作品ばかり。来てよかった」、「自分は、芸術とはあまり縁がなく、作品の見方がよく分からないので、説明や解説があれば」といった声が聞かれました。

なお、町民の入賞・入選者は次の通り(敬称略)。

【美術部門】▽赤嶺雅(字翁長五九一番地、前田M四〇四)「時の鼓動」《県知事賞》

▽玉那覇英人(字小那覇九十八番地)「祈り」

【写真部門】▽比嘉睦子(字池田五十六の三番地)「茜色の日」《奨励賞》・「木陰」

▽新里英治(字与

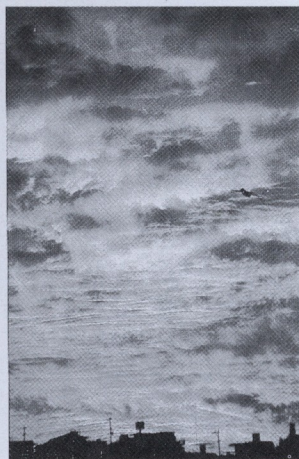
那城二百二十七番地の四)「甘い誘惑」

▽与那嶺浩(字津

花波百七十四の二

番地)「サガリバナ」

▽波平常則(字津



△《奨励賞》「茜色の日」
比嘉睦子さんの作品

花波四百四十五の三番地)「バーランクー」▽与那城武旭(字桃原四十二番地)「キャンプ場の朝」・「卒業」

お聴かせ下さい、あなたの声を！ともに育てよう

「文教のまち西原」

平成七年度行政懇談会を開催！

町(平安恒政町長)主催による町内各行政区との「平成七年度行政懇談会」が、十月二十六日から四回にわたり各町立小学校体育館を会場に開催されました。

これは、町民の町政に対する意見・要望等、まちづくりについての提言を受け、本町の将来像である「文教のまち」に向けた「対話行政」、「町民参加」のまちづくりを推進しよう

と開催したもの。今回は、三十一ある町行政区を町立小学校四校の通学区を目安に四回に分け、各小学校体育館で開催

各行政区からは、道路や排水施設など生活基盤整備や信号機・外灯の設置、マリントウンプロジェクトや図書館建設などの大型事業に対する意見・要望がだされました。

平安町長は「意見・要望の反映には財政的な裏付けが必要なので、事業効果などを考慮して事業の優先順位をつけ、予算措置できるものから年次的に対応していきたい」と述べました。なお、集約された意見・要望等は、平成八年度予算成立後に文書で各行政区に回答される予定です。